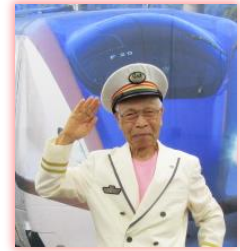




荒井塾長あいさつ

荒井貞夫



【我が家の米騒動】

8月14日(木)ヤクルトの配達日で、この日は米を運んでくれる日だった。ところが毎週来られるヤクルトのおばさんから「申し訳ございません。お米がないんです」とお詫びがあった。私は3月に車を売ってしまったので、重たい米はヤクルトに頼んでいた。

翌日15日ゴルフ仲間「コメがないそうだよ」と言った。ゴルフ仲間が「娘から米を買ってきて」と言われたので、いつものスーパーへ買いに行ったら、棚は空っぽだった。3軒探したが何処にもコメはなかった。

8月17日(土)、盆踊りのテント設置などで集まってくれたTさんに「今度車でスーパーへ行ったらお米を買ってきて。米が売ってないそうなんだよ」。

同じ事を知り合いのFさんへも頼んだ。

そしたら、二人ともアッチコッチ探し回って、19日(月)に買って来てくれた。5Kg(無洗米)+5Kg=10Kgで5,100円だった。Fさんは「Tさんが買って来てくれたんだったら、この米は娘のところへ回すよ」と持ち帰った。

これで我が家は、1ヶ月半ぐらいいはお米の心配はなくなった。翌週22日(木)ヤクルトのおばさんが配達に来て、印刷した紙を渡してくれた「9月末頃には新米が入ります。5Kgで3,680円です」とあった。5Kgで2,500円ぐらいだったのが50%高い。



その後、毎日のように新聞やテレビで米が不足している事が報じられていた。8月22日(木)マルエツの米の棚はからっぽだった。

【以下は既に皆様が見聞きしておられる 8 月の新聞・TV 等の報道記事です】

米の価格が上がっている。7 月は 17.2%(前年同月比)上がった。
おにぎりも 10~30 円上がった。6 月から米の仕入れ価格が 1.4 倍になったのが原因だ。
せんべいも 16%値上がりした。原因は「作夏の猛暑による出回り量減少や外食での需要増が影響した」と総務省はコメントしていた。

農林水産省は「新米が出回る前の 8 月は元々在庫量が減る時期だ」と指摘する。
これに加えて南海トラフ地震の臨時情報(巨大地震注意)が有り、台風 7 号も発生した事で消費者の買い込みが加速したという。

24 年産の米の生育は順調で、需要逼迫は 10 月には改善するとの期待がある。
米の最大の最大産地である新潟県の JA グループは 24 年産米の集荷価格を大幅に引上げる。コシヒカリの 1 等米だと前年を 22%上回る。小売価格はもっと上昇するだろう。

米は長期的に需要が減る中、転作に補助金をつけるなど、様々な政策で生産を減らし価格を維持してきた。供給力の弱さで価格上昇が止まらなければ、米食離れに拍車を掛け、中長期的には米の生産が更に落ち込むという悪循環に繋がりがかねない。

あきたこまち一俵(60kg)が 16,800 円、しかし、農家にとってはこれでも儲からないのかもしれない。

自治体	ブランド	概算金	前年比	増加率
秋田	あきたこまち	1万6800円	4700円増	38% ^ア
新潟	コシヒカリ	1万7000円	3100円増	22
栃木	コシヒカリ	1万6300円	4000円増	32
富山	富富富	1万6800円	3000円増	21
高知	コシヒカリ	1万4800円	4500円増	43
香川	コシヒカリ	1万6620円	4920円増	42

2023/09/04 12:57

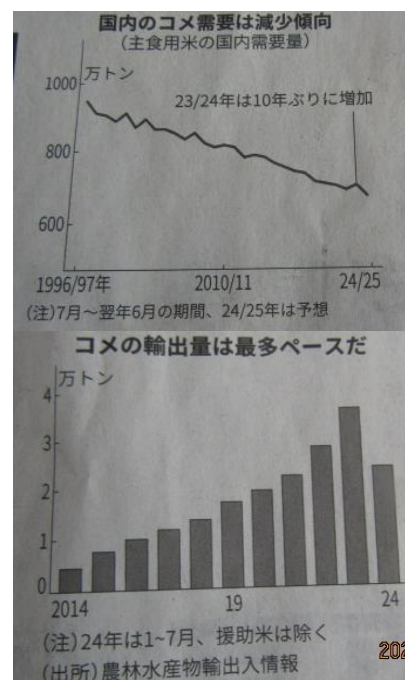
【政府備蓄米】 備蓄米は、冷夏で作況指数が 74 まで落ち込んだ 1993 年に起きた「平成の米騒動」を受けて始まった制度。現在は 91 万トンある。

「東日本大震災や熊本地震で備蓄米が供給された事があるが、昨年度の作況指数は 101 で平年並み。凶作ではなく備蓄米を放出するには至らない」と言うのが国の判断だそうだ。

秋田県大潟村の米農家の話:「米所の秋田でもコメがない状態。国の流通業者への働きかけが遅すぎる。主食米ではなく飼料用米を作れという国の方針にも問題があったのではないか」。

さて、スーパーのコメはどうなったか。
9 月 12 日マルエツの棚にコメはいっぱいあった。
マルエツ*5kg 3,300 円
ヤオコー*コメは空っぽだった。

新米はいくらだろうか、気になっている。
今日(9 月 13 日)も新聞が伝えている。
「減反政策は 2018 年に終わったが、今も生産量は減り続けている」
(9 月 13 日記)





2024年9月12日 笑楽日塾 塾会 報告

期日 2024年9月12日(木) 17時30分~19時30分

会場 蕨市内 秘密の場所

出席者 八木、吉田、内田、星、高木、南、清藤、荒井 8名

欠席者 新井齊、先崎、菊地



荒井から:

今夜も南さんから特製ウイスキーBallantine'sを戴きました。ブロックアイスと炭酸も用意しました。更に内田さんからよく冷えた「スパークリング白ワイン」をいただきました。お二人に感謝です。まだ残暑が厳しいですが、今夜は大いに楽しんで下さい。

塾会の冒頭から、老人の深刻な話ですが、今朝、知り合いが緑色のカボスを持ってきてくれた。毎年今頃、「田舎から送ってきたから」と持ってきてくれる。86歳のその人によると「5年ぐらい前から奥様の痴呆症が始まって、年々進行して、トイレの世話から、日常生活全てで押しつぶされそう。今はもう地獄のようだ。週2回介護施設のデーサービスを利用しているが、もう限界に近いので、何処か施設を探したい」と話してくれました。奥様は長いこと有名デパートに勤められて、旦那は高級公務員で恵まれた生活をしていたのに。認知症の奥様を世話して疲れている様子でした。



さて、今夜は、自民党の総裁選挙で誰が有力か、誰に総理になって貰いたいかお聞きしたいと思います。

Aさん 小泉はダメだな

Bさん 高市が良いかな。石破はダメだろう

Cさん 小泉、石破、高市かな。石破は地方票では勝っても、議員票で負ける。

高市はタカ派で元気だが、安倍の臭いが強すぎる。

小林は若く元気だが、経験不足と安倍に力を入れすぎていることが嫌われている。

Dさん 石破は顔つき、印象が良くない。海外で人気がない。茂木が良さそうだ。気骨の有る人が良い。角栄のような知恵と馬力がある人が良い。

Eさん 外務大臣、法務大臣の経験者である上川がいい。

Fさん 高市が良い。要職を経験している。

Gさん 海外には茂木が強い。中国に土地を、森林を買い占められている。

Hさん 加藤が所得倍増を言いだした。言葉だけならば誰でも言える。政策を数字で金額で期限を決めて、「いつまでに何をいくらで達成する」と掲げて欲しい。昨日も拉致被害者の会で横田さん、飯塚さんが訴えていた。「9人の候補者で誰も北朝鮮への対応、拉致被害者救済を打ち出していない」

自民党総裁選の立候補者			
氏名	衆院当選回数 (年齢)	選挙区	主な経歴
石破 茂	12回(67)	鳥取1区	元幹事長
加藤 勝信	7回(68)	岡山5区	元官房長官
上川 陽子	7回(71)	静岡1区	外相
小泉進次郎	5回(43)	神奈川11区	元環境相
河野 太郎	9回(61)	神奈川15区	デジタル相
小林 鷹之	4回(49)	千葉2区	前経済安全保障相
高市 早苗	9回(63)	奈良2区	経済安保相
林 芳正	1回、参5回 (63)	山口3区	官房長官
茂木 敏充	10回(68)	栃木5区	幹事長

さて、9月27日の投開票はどうなるか。次の日本のリーダーは誰か？

総裁選は衆参両院の議長を除く国会議員票(367票)と党員・党友票を比例配分する地方票(367票)を合わせた計734票を取り合う。1回目の投票で過半数をとる候補がいなければ、上位2人による決選投票を行う。その場合、国会議員票は367票だが、党員票は都道府県に1票ずつ47票が割り振られる。



次回は10月第4木曜日(10月24日)で、カラオケバトル大会を行う予定です。

場所：埼玉りそな銀行前のカラオケ店「アプレシオ わらび西口店」(電話 048-447-2651)

時間：17時30分開始～

完



「シニアの風」

(順番制で行います。10月号は 先崎 隆さんですので準備の程、宜しくお願い致します。)

「用の美について」

塾生 八木 守

「用の美」という言葉があります。

「民衆的工藝」を略した言葉で、1925年に柳宗悦、濱田庄司、河井寛次郎によって提唱された新しい美の概念とされています。

日本の各地域に根差した民衆の暮らしの中で、無名の職人の人達の手仕事が生み出す日用雑器に美を見出す考え方であり、美術品とは異なり、実用性を備えた日常の生活道具に宿る「用の美」を説くことがあります。

そんな「用の美」に目覚めたのは今年6月に世田谷美術館で開催されていた「民藝」展。すべて自然素材で作られており、鑑賞しながら感じたのは、その品々がすごく美しく感じ、無機質な金属製品でなく何故か心が和みました。歳をとったせいでしょうか？(笑い)。

毎日お世話になる掃除機、今は軽量で使いやすい商品も沢山でていますが、昭和初期はそんな電化製品はありませんでした。

外掃きはシダ(赤シダ、黒シダ)、家中掃きには箒草、鬼毛棕櫚があります。

ちりとりは和紙に柿渋を塗って作られた昔ながらのちりとり「はりみ」は、静電気が起きないので、集めた埃がまとわりつかず、ずっとゴミ箱に落ちていきます。大切に使用すれば10～20年使えます。

今年中にお婆さんが購入した大きな仏壇のある和室に3点セットを購入しようと考えています。





サラリーマン時代、一生物の机と椅子が欲しく、会社が日本橋にあった頃、三越家具売り場でイギリス製のライティングデスクと同じ材質で出来た椅子を購入しましたが、これも「用の美」ではありませんが使っていて心が和みます。左側の黒いのはレコードプレーヤー。昔集めた LP レコードのクラシックや Jazz の曲を聴きながら風呂上りに静かに読書をしたり、ビール、ウイスキーを飲んだり HYGGE Time(至福の時間)を過ごしています。これも会社をリタイヤした後の愉しみとして定年前に計画した一部です。その内、この家具も息子の時代になればアンティーク家具になっていくでしょう。

そして最後に私の趣味の1つとして良い筆記具を探し、日常で使う事です。書くことが好きな私は 40 歳代から万年筆、ボールペン、シャープペンシル等いろいろ購入しました。しかし、最近では毎日使う品は段々と決まってきました。

- ① 万年筆は紙の上でさらさら書ける品 ⇒ モンブランマイスターシュテュック黒 万年筆
- ② ボールペンもインクの出が良い品 ⇒ モンブランマイスターシュテュック黒 ボールペン
- ③ オノト万年筆 ⇒ 丸善オノトモデル シリーズ III オールドローズ 中字
- ④ 多機能ペン(シャープ+ボールペン3色(黒、紺、赤) ⇒ PILOT 漆「四神」黒 ↓④
- ⑤ 多機能フリクションボールペン4色(黒、紺、赤、緑) ⇒ PILOT
- ⑥ メモ用シャープペン ⇒ エバーシャープペンシル(アンティーク品)silver



常に持ち歩くのは④～⑥の筆記具。

↓③

↓⑥



持って使う品は自分の感性にあった品が良い。見て、触って、筆記具が自分に訴えてくる品が。たかが文房具とはいえ、毎日使う道具から楽しみ、かつ所有する満足を得られるものでその品が個人の存在価値観を問い、手を動かし書くことで頭脳を使い、全身の五感を総動員してくると思う。

もちろん、書くには書かれる紙が必要。この紙もいろいろな品があります。これについては次回に述べたいと思います。

「用の美」・・・ 自分の側において使う品は無機質なものではなく、美しい品で囲まれたいです。

完



八木 守

9月になりました。

まだまだ暑い日と台風ラッシュの時期です。皆様、お身体ご自愛願います。

9月に含まれる二十四節気は「白露(はくろ)」と「秋分(しゅうぶん)」です。

「白露」は9月8日ごろに始まり、残暑が引いて秋らしい気配を感じられる時期です。

夜中に大気が冷え、早朝に草木の先や花に露が白く光って見えることから名付けられました。

また、この頃には赤とんぼを見かける機会が増える時期でもあります。

「秋分」は9月23日ごろにあり、昼と夜の長さがほぼ等しくなる日です。

太陽は真東から出て、真西に沈みます。

白露 はくろ (9/8～22 ごろ)

草花に朝露がつき、白い粒のように光って見える頃です。

日中の暑さも和らぎ、だんだんと秋の深まりを感じます。ツバメが去り、せきれいの声が響きわたります。



秋分 しゅうぶん（9/23～10/7 ごろ）

春分と同じように、昼と夜の長さが同じになる頃です。
この日を境にだんだんと夜が長くなっていきます。「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、お彼岸が終わると秋の気候へと変わっていきます。



「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、今年の9月下旬は残暑が落ち着くのでしょうか？
しかし、空を見るとモコモコとした^{うるこくも}鱗雲があらわれると、過ごしやすい季節はもうすぐです。

続く～